

令和7年度

研 究 要 領

研究テーマ 「子どもたちの確かな学びを支援する学校事務」

サブテーマ ～学校運営に資する実践の共有と活用を目指して～

基本方針

学校運営における基幹的職員として、リソースマネジメントを展開し、他職種や地域との連携・協働等により学校全体の課題解決につながる実践を行う事務職員を目指し、その方策を提案します。

研究活動概要

1 実践研究の推進

個人や共同実施組織で行われている実践を共有し、それらを自校や市町の学校課題に応じて活用することを推進します。

2 実践の質の向上に向けて

学校全体を見渡し、自校や市町内の学校の課題解決や業務改善に向けて、関係機関や他職種との対話や連携・協働に基づく実践や取組を行うことを推進します。県内外の学校改善や学校力向上に資する取組を共有し、積極的に学校運営参画ができる手立てを提案します。

- ① 秋季学校事務研究会において、学校運営に資する実践事例を共有し、自身や自市町の学校課題に沿った改善への具体的な一歩を踏み出す後押しをします。
- ② 共同実施が個々の実践の共有や活用の基盤として充実し、学校課題を機能的、組織的に解決する場となるために、「共同学校事務室」の制度を視野に入れ、福井県の共同実施の将来について、より良い在り方の検討を進めます。

令和7年度

研 修 要 項

基本方針

教育行政職員としての専門的知見や多角的な視点を育成し、マネジメントスタッフとしての機能を向上させるために、以下の項目を柱として研修や活動を進めていきます。

- 家庭地域や外部機関と主体的に関わっていく事務職員になるための研修の推進
- 会員が主体的・意欲的に研修を受講できるような場の設定
- 計画的な採用1・2・3年目研修を実施し、相互に学び合い、能力を高め合う組織づくりの追究
- 今後の学校事務組織を担い、リーダーシップを発揮することができる人材の育成

年次別研修課題

キャリアに応じた学校運営参画を目指そう

年次別研修課題を解決するために、以下の項目を重点に研修や活動を進めていきます。

1 会員の資質向上のための研修

会員のキャリアに応じた資質・能力の向上を促進し、主体的に行動することへの意識改革を促すため、体系的に研修を実施していきます。

2 人材育成のための研修の充実

採用1・2・3年目研修において、事務職員としてのキャリアビジョンを描いたり、日々の実践について、グループセッションやクロスセッションでの意見交換を通して振り返ったりしながら、事務職員としての資質・能力を高めることができるように、内容の充実を図ります。